

| | |
|--|--|
| ① 研究課題名 | 膵癌、肝細胞癌患者の臓器特異的エクソソーム解析による癌の多様性の解析 |
| ② 対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者 | 2015年5月から2020年5月までの間に、本学附属病院において膵癌、肝癌にて受診された患者様を対象としている。過去の研究課題名；検査や治療によって得られる検体の採取と保存 受付番号 2192 責任者 寺井崇二、過去の研究課題名；膵臓癌、胆道癌、肝臓癌、肝硬変、非アルコール性脂肪性肝炎(NASH)おける血清 DPPIV の解析 受付番号 2017-0269 責任者 寺井崇二 |
| ③ 概要 | エクソソームは100nm前後の細胞外小胞で内部にタンパク、脂質、miRNA、脂質などを含み診断目的で注目されるばかりでなく、細胞間で移送され機能し細胞間情報伝達に関与しています。我々は肝細胞癌と膵癌患者さんを対象にその臓器特異的に発現しているエクソソームの中に含まれるタンパクの解析を行うことにより、診断や治療の選択に重要な情報になり得るものを探る研究を行います。 |
| ④ 申請番号 | 2020-0056 |
| ⑤ 研究の目的・意義 | 過去に当科に通院、入院された膵癌、肝細胞癌患者様の保存されている血清の余剰にてエクソソームを抽出、プロテオーム(タンパク)解析を行い過去の血液画像検査から臨床的意義を推定する。 |
| ⑥ 研究期間 | 倫理委員会承認日～ 2024年3月31日 |
| ⑦ 情報の利用目的及び利用方法(他の機関へ提供される場合はその方法を含む。) | この研究で得られた測定結果(新潟大学医歯学総合病院検査部で測定)は、あなたの個人情報(名前や住所、電話番号など)に係わる情報を切り離してから、研究に用いられます。結果はまとめられ、学会や医学雑誌などに発表されることもあります。また、公益財団法人 がん研究所(植田幸嗣先生)とエクソソーム抽出結果や臨床検査での肝機能の数値・腫瘍マーカーのデータを共有します。ただし、いずれの場合にも、あなたの個人情報が公表されることは一切ありません。 |
| ⑧ 利用または提供する情報の項目 | 2015年5月から2020年5月までの間に、本学附属病院において肝細胞癌にて受診された患者様の病歴(年齢、性別、死亡情報、治療内容)、血液検査結果、CT、MRI、エコー検査 |
| ⑨ 利用の範囲 | 新潟大学 消化器内科 |
| ⑩ 試料・情報の管理について責任を有する者 | 新潟大学大学院医歯学総合研究科 消化器内科学分野 教授 寺井崇二、新潟大学医歯学総合病院消化器内科 講師 土屋淳紀 |

| | |
|----------|---|
| ④お問い合わせ先 | 所 属：新潟大学大学院医歯学総合研究科消化器内科学分野 住 所：新潟市中央区旭町通1-757 連絡先：025-227-2207 研究責任者 (職名) 教授 寺井崇二 研究分担者 (職名) 講師 土屋淳紀 atsunori@med.niigata-u.ac.jp |
|----------|---|